

研究タイトル：

## 日本古典文学と絵画の相关性



氏名：	齋 麻子 / SAI ASAKO	E-mail：	sai-g@hachinohe-ct.ac.jp
職名：	総合科学科 准教授	学位：	修士(日本文学)
所属学会・協会：	中古文学会・和歌文学会・平安朝文学研究会		
キーワード：	『源氏物語』の絵画享受 絵巻 屏風絵		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古筆解説</li> <li>・筆跡鑑定</li> <li>・日本古典文学関連(平安文学を中心に)</li> </ul>		

### 研究内容：

#### 文学と絵画の融合

絵巻・屏風絵・襖絵…、絵本・漫画、日本は古くから現在に至るまで、文学作品を絵画にしてあらわすという行為を数多く行ってきた。世界的に見ると、ストーリーを持った絵画は宗教的なものが数多い。しかし、日本の場合は、『源氏物語』や『伊勢物語』などの宗教とは関わりを持たない絵画作品が平安時代以降、現在に至るまでかなりの数の作品が作られている。現存するものはごくわずかで、また、その中でも図版などで広く一般に知られている作品は極一部に過ぎない。宗教画ではない単なる物語、いわゆる王朝物語である『源氏物語』が絵画化される時、どのような法則で物語の一コマを抜き出し表現するのか、どのような場合に『源氏物語』が絵画化されるのかをテーマに研究している。現在は、江戸時代前期（元禄期）の宮廷および幕府周辺で作られた『源氏物語』の屏風について研究している。絵画作品が政治的な場面で利用されていることなどが明らかになりつつある。宮内庁や国立歴史民俗博物館をはじめ、各地の文庫や大学附属図書館等に眠る資料を調査、解説しながら、研究を進めている。

#### 提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	